

### 平成24年度 再評価対象事業一覧表

平成24年5月24日作成

漁港-2	事業計画				再評価の理由	再評価の視点															
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所		工期		事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み				上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト削減及び代替案立案の可能性の有無	前回審議年度	対応方針(原案)	
						着工	完了		前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率	H24年度事業費				H25年度以降事業費	B/C				分析基礎の要因の変化
						上段：当初 下段：変更	※1		(億円)	(%)	(%) ※2	(億円)				(億円)	当初 ※1				
水産生産基盤整備事業	上対馬東地区(五根緒漁港)(唐舟志漁港)(舟志漁場)(五根緒漁場)	市	対馬市	<唐舟志漁港> 防波堤(B)L=30m →廃止 防波堤(A)(改良)L=20m 東防波堤(改良)L=50m 護岸(A)(改良)L=42m 護岸(B)(改良)L=84m 等	H14	H23	32.0		15.0	84%	(一)	0.3	2.5	●第1次対馬市総合計画 後期基本計画(2011~2015) ●五根緒漁港関連道整備事業(H13~H23)	磯焼け等による周辺海域の漁業資源の減少が懸念されるが、漁船数、漁獲量は年ごとに変動はあるものの一定の水準を維持している。	台風時の他港避難解除、係船時の安全性向上等コスト削減及び安全で快適な労働環境実現に向けて早期完成を強く要望されている。	1.25 1.24	・事業費の実績による精算及び見直しによる。 ・完成年度の遅延による。	・設計方法・事業工程の見直し及び他事業との連携によるコスト削減を可能な限り図る。 ・代替案の可能性はない	-	見直し継続
				<五根緒漁港> 沖防波堤L=150m 防波堤(A)L=30m 南防波堤L=80m →廃止 -3.5m航路A=1,400㎡→廃止 道路L=180m <舟志漁場>:完了 着定基質A=3,750㎡ <五根緒漁場> 着定基質A=5,750㎡	H14	H26	17.8														
漁港-3	水産生産基盤整備事業	豊玉東地区(千尋藻漁港)(塩浜漁港)(千尋藻漁場)	市	対馬市	<千尋藻漁港> 防波堤A(改良)L=290m 防波堤F(改良)L=6m →廃止 -1m物揚場L=90m 船揚場L=20m 道路AL=240m 等	H14	H23	21.6						第1次対馬市総合計画 後期基本計画(2011~2015)	人口減少及び高齢化により、漁船数、組合員数は減少傾向にあるが、漁業生産量、生産額については、年ごとに変動はあるものの、一定の水準を維持している。	安全で快適な機能設備の充実、及び就労環境改善の実現が図られるよう、施設整備の早期完成を強く要望されている。	1.53 1.62	・事業費の実績による精算及び見直しによる。 ・完成年度の遅延による。	・設計方法・事業工程の見直し及び他事業との連携によるコスト削減を可能な限り図る。 ・代替案の可能性はない	-	見直し継続
					<塩浜漁港> 防波堤AL=50m 防波堤CL=120m →廃止 護岸(改良)L=15m 浮桟橋1基 -1m物揚場L=20m 道路AL=510m 蓄養水域A=6,000㎡ →廃止 等 <千尋藻漁場> 並型魚礁V=1,509空㎡	H14	H28	20.0													

※1 2回目以降の再評価の場合、「当初」は「前回」と置き換えている。  
 ※2 用地進捗率の上段は「予算ベース」、下段( )書きは「契約ベース」である。

### 平成24年度 再評価対象事業一覧表

平成24年5月24日作成

事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期		再評価の理由	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト削減及び代替案立案の可能性の有無	前回審議年度	対応方針(原案)		
					着工	完了		前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率	H24年度事業費	H25年度以降事業費				B/C	分析基礎の要因の変化					
					上段：当初	※1		(億円)	(%)	(%)	(億円)	(億円)				当初					現行	
					下段：変更	※1			※2			※1										
漁港-5 水産生産基盤整備事業	美津島南地区 (高浜漁港) (根緒漁港) (高浜(地)漁場) (高浜(並)漁場)	市	対馬市	<高浜漁港> 外防波堤L=150m 南防波堤L=40m →廃止 南防波堤(改良)L=100m 護岸(改良)L=15m →廃止 浮棧橋1基 道路L=420m 用地1式 <根緒漁港> 南防波堤L=50m →廃止 北防波堤L=16m →廃止 南防波堤(改良)L=150m -3m岸壁L=60m →廃止 用地A=300㎡ →廃止 <高浜(並)漁場> 並型魚礁V=1,260空㎡ <高浜(地)漁場> 着定基質1ha	H14	H23	36.2	事業採択後 10年経過	15.7	82%	— (—)	0.9	2.5	第1次対馬市総合計画後期基本計画(2011~2015)	当地区においては、年毎の変動はあるものの、漁船数や総揚量は一定の水産を維持している。	荒天時や台風時には避難を余儀なくされていることから、港内静穏度の確保、また、雇労環境の改善を図る係留施設等の整備をはじめ、施設整備の早期完成を強く要望されている。	1.24	1.73	・事業費の実績による精算及び見直しによる。 ・完成年度の遅延による。	・設計方法・事業工程の見直し及び他事業との連携によるコスト削減を可能な限り図る。 ・代替案の可能性はない	—	見直し継続
				<高浜漁港> 外防波堤L=150m 南防波堤(改良)L=100m 浮棧橋1基 道路L=420m 用地1式 <根緒漁港> 南防波堤(改良)L=150m <高浜(並)漁場> 並型魚礁V=1,260空㎡ <高浜(地)漁場> 着定基質1ha	H14	H27	19.1															
漁港-6 水産生産基盤整備事業	阿連地区 (阿連漁港)	市	対馬市	<阿連漁港> A防波堤L=150m→廃止 B防波堤L=200m→廃止 内防波堤L=30m→廃止 導流堤L=50m 浮棧橋1基 -3m岸壁L=50m→廃止 道路L=35m→廃止 用地(水域)A=5,000㎡→廃止 用地A=920㎡→廃止	H14	H23	47.9	事業採択後 10年経過	19.6	68%	— (—)	3.0	6.4	第1次対馬市総合計画後期基本計画(2011~2015)	当漁港は、一本釣り・採貝業を主としているが、近年の磯焼け等による漁業資源の減少に比例するような水揚量の減少に歯止めがかからない。漁業従事者が工夫しながら漁業資源対策を行い、漁業所得の向上を目指している状況である。	荒天時や台風時には避難を余儀なくされていることから、港内静穏度の確保、また、雇労環境の改善を図る係留施設等の整備をはじめ、現計画の早期完成を強く要望されている。	1.06	1.11	・事業費の実績による精算及び見直しによる。 ・完成年度の遅延による。	・設計方法・事業工程の見直し及び他事業との連携によるコスト削減を可能な限り図る。 ・代替案の可能性はない	—	継続
				<阿連漁港> B防波堤L=200m C防波堤L=40m→追加 南防波堤(改良)L=70m→追加 導流堤L=50m 浮棧橋1基	H14	H28	29.0															

※1 2回目以降の再評価の場合、「当初」は「前回」と置き換えている。

※2 用地進捗率の上段は「予算ベース」、下段( )書きは「契約ベース」である。

### 平成24年度 再評価対象事業一覧表

平成24年5月24日作成

事業名	施設名	事業計画				再評価の理由	再評価の視点															
		事業主体	事業箇所	事業概要	工期		事業進捗の状況及び見込み				上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト削減及び代替案立案の可能性の有無	前回審議年度	対応方針(原案)				
					着工		完了	事業費(億円)	前年度進捗率	用地進捗率				H24年度事業費	H25年度以降事業費				B/C	分析基礎の要因の変化		
					上段：当初 下段：変更		※1		(%)	(%)				(億円)	(億円)				当初※1		現行	
漁港8 地域自主戦略交付金事業 (漁業集落環境整備事業)	瀬戸・芦辺地区	市	沓崎市	1号集落道 220m 2号集落道 120m 3号集落道 250m 5号集落道 170m 排水管路施設 23,000m 排水処理施設 1式 1号排水路 235m 照明施設 1式 終末処理場 8,000㎡	H14	H23	43.1	事業採択後 10年経過	24.3	76%	(一)	0.5	7.0	●沓崎市 総合計画(後期基本計画 2010~2014) ●(県営)芦辺地区水産生産基盤整備事業(H24~H28)	・沿岸海域における海域環境の悪化、水産資源の減少及び魚価の低迷等による漁業生産額の減少や漁業用燃料の高騰、漁業就業者の減少、高齢化等漁業を取り巻く環境は厳しい状況にある。 ・芦辺地区においては、地区住民の整備要望や加入意向に変化が見られる。	快適な生活環境創出のため事業継続を要望。	1.19	1.20	・事業費の実績による精算及び見直しによるもの。 ・下水道区域の縮小による総事業費の減額及び現行の便益の見直しによる。 ・代替案の可能性はない	・設計方法・事業工程の見直し及び他事業との連携によるコスト削減を可能な限り図る。 ・代替案の可能性はない	H18	見直し継続
				1号集落道 237m 2号集落道 215m 3号集落道 314m 5号集落道 255m 排水管路施設 20,965m 排水処理施設 1式 1号排水路 213m 照明施設 1式 終末処理場 8,300㎡	H14	H27	31.8															

※1 2回目以降の再評価の場合、「当初」は「前回」と置き換えている。  
 ※2 用地進捗率の上段は「予算ベース」、下段( )書きは「契約ベース」である。